

# アーチルニュース ちえなっぷ 第34号

## 《今号の内容》

### 『アーチル発達障害基礎講座』 開催報告

開催日：令和2年11月30日(日)  
開催場所：仙台銀行ホールイズミティ21

※アーチルは「仙台市発達相談支援センター」の愛称です。子供から大人まで、発達障害のある方の支援を行っています。  
※ちえなっぷは「CHIN UP! (前を向いて)」の意味です。

## 地域の理解と支援の輪が広がるように

10年ほど前にアーチルの学齢児支援係長をさせていただき、昨年4月から再びアーチルに赴任することとなり、南部の所長を務めさせていただいております。この間、「発達障害」について、様々なメディアや書籍などで取り上げられ、以前に比べ世間での認知度が高まってきたことはとても喜ばしいことです。

アーチルでは、発達障害のある方々が、身近な地域で安心して自分らしく活躍できるよう、個別の相談を受けながら、仲間と出会う場や家族が集う場など本人と家族を支援することと併せて、保育所や幼稚園、学校、福祉サービス施設等の支援者への支援も行ってきました。

こうした取り組みは、生涯にわたる一貫した支援体制づくりに必要なものですが、障害のある方と家族が身近な地域で健やかに生活していくためには、地域の住民の皆さんの理解や地域全体での支えが重要であり、欠かせないものと考えています。そのため、アーチルでは、発達障害についての地域での理解と支援の輪が広がるように、市民の皆さんを対象とした研修会「基礎講座」を開催しております。

今回の特集は、昨年11月に「あなたの隣の発達障害」と題して信州大学医学部教授の本田先生から、暮らしやすくなる環境づくりや接し方等具体的なお話をいただいたことを取り上げました。

今後も、障害に対する理解が地域全体で進むよう、様々な機会をとらえて啓発に取り組んでまいります。

南部アーチル所長 早坂健一

## 特集記事 『アーチル発達障害基礎講座』 開催報告

### 『アーチル発達障害基礎講座』を開催しました！

アーチル発達障害基礎講座は、アーチルが毎年開催している市民のみなさま向けの講座です。

今回の講座は、身近な地域で生活する発達障害者の理解を深めていく機会として企画いたしました。講師には、NHKのドキュメンタリー番組『プロフェッショナル 仕事の流儀』にも出演された本田先生や、発達障害をお持ちの当事者の方をお招きし、ご講話を頂きました！

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の中、当事者のご家族や幼稚園・保育所、障害福祉事業所にお勤めの支援者の方々など、総数462名の皆さまにご参加いただき、アンケート結果も好評でした。

### 『あなたの隣の発達障害 ～地域で安心して暮らしていくために～』

#### 第一部 「あなたの隣の発達障害」

講師：信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部 部長 本田 秀夫 氏

#### 第二部 「当事者からのメッセージ ～これまでを振り返って思うこと～」

講師：発達障害をお持ちの当事者の方

仙台市自閉症相談センターここねっと 主任相談員 西田 有吾 氏

講師の先生方から頂いた様々なお話の中から、特に印象に残った内容を一部ご紹介します！

## 第一部 「あなたの隣の発達障害」

本田先生より、発達障害の特性、障害をお持ちの方が地域で暮らしやすくなる環境づくりや接し方のポイント、支援の課題などについて、当事者の目線に立って幅広くお話していただきました。

### ●発達障害がある方の、健康でハッピーな生き方

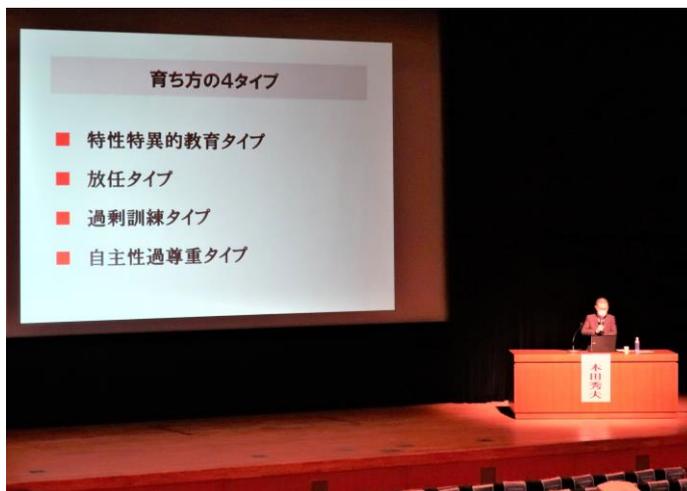
自分の「やりたいこと」を大切にすることが重要だというお話をいただきました。

発達の特徴がある方は、得意なことと苦手なことの差が大きいことに加え、とても真面目なため「やるべきこと」が多くなりがちです。「やるべきこと」をこなすストレスを解消するために、食事や睡眠の時間を削ってしまうことがあります。

「やるべきこと」を減らし「やりたいこと」にも十分な時間を割けるよう、苦手分野のサポートが得られる環境調整が必要ということでした。

講座の資料をアーチルのホームページに掲載しております。ぜひご覧ください！

## 基礎講座 当日の様子



## 第二部 「当事者からのメッセージ」 前半

発達障害をお持ちの当事者の方から、ご自身の特性、これまでの経験や感じていたこと、思いなどを具体的にご講話いただきました！

### ●自分の特性と上手に付き合うために必要なこと

余暇の時間を確実に確保できる環境が重要だったと、ご自身の経験を振り返っていらっしゃいました。余暇活動は、人や社会とつながるきっかけになったそうです。また、余暇を通じて周囲から肯定されたことで、自分に自信を持つことができるようになったとおっしゃっていました。

### ●皆さんに伝えたいこと

「相手を尊重し配慮する気持ちが、全ての人に広がりますように」というメッセージを頂きました。

## 第二部 「当事者からのメッセージ」 後半

「ここねっと」の西田さんをファシリテーターに迎え、発達障害のある方の余暇活動を支援する際の課題について講師3者で討論を行いました。

### ●余暇を共有できる場がほしい

当事者同士のコミュニティを増やすことはもちろん、今地域にある社会資源を活用できるよう情報提供することも効果的な支援なのだそうです。

### ●趣味など、余暇をみつけない

必ずしも『遊び』を余暇と捉えなくてもいいという本田先生の言葉が印象的でした。ボランティア活動や自己研究など、『本人が負担感なく目的を持ってできること』も余暇活動の一つであるというお話をいただきました。

## 《編集後記》

誰にでも、得意なことや苦手なことがあると思います。特性のあるなしに関わらず、相手を尊重し、配慮する気持ちを大切にしていきたいと改めて感じました。【W】

## 《連絡先》

仙台市北部発達相談支援センター（北部アーチル）電話：022-375-0110

仙台市南部発達相談支援センター（南部アーチル）電話：022-247-3801

《ホームページ》 <http://www.city.sendai.jp/kenkou/hattatsu/gaiyou/> もしくは「アーチル」で検索

※この広報紙についてのご意見・お問い合わせは上記の北部アーチルまでお願いします。